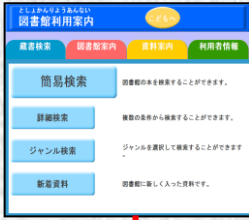


調べものに便利なサービス



第3回目の講座は、本を使った調べものをするときの便利なサービスとして、図書館の司書さんが行うレファレンスとはどんなものなのか？を学習しました。本を使った調べもので一番身近なことは、学校の宿題が思い浮かぶとおもいます。どうしたらいいかな？と思ったら、まずは図書館へ行ってみましょう。

図書館には「本の相談」という場所があります。ここには、図書館で働いている人がいて、図書館へ来た人の相談に答えたり、本を探したり、どんな本をみればいいのかアドバイスするレファレンスサービスというものはあります。

「レファレンス」という言葉は聞きなれないかもしれませんが、図書館では調べものの相談やお手伝いという意味です。もし、みなさんが「こんな内容の本をさがしている」「自由研究ってどうやっていいの」などのように、どんな本を読んだらいいのかわからないという経験をしたことありませんか？そんなときもぜひ相談してみてください。調べているテーマの参考となる本など、いろいろ紹介してくれますよ！

★☆☆☆☆

本を探す便利な道具

レファレンスを利用して本を紹介してもらうのは便利だけど、自分だけで本を探したい！という方に便利なのが、OPACというものです。

OPACとは、コンピュータを利用して図書館の本を検索することができる仕組みのことです。

左の図は潮来市立図書館のOPACの画面です。OPACで検索することで、自分の探している本が図書館にあるかどうか、またどの本棚に並んでいるのかなどを調べることができます。

どれか一つのキーワードで検索するときには、簡易検索。いろいろなキーワードを組み合わせて検索するときには、詳細検索。例えば、環境について調べるときは、リサイクル、地球温暖化など関係するキーワードを考えて、いろいろ検索してみましょう。

第3期 子ども司書講座 新聞 第3号



ホームページ公開中



貸出と返却の体験

図書館のカウンター（窓口）にはいつもエプロンをつけたお姉さんたちがいます。図書館で働いている司書さんです。窓口では、本の貸出や返却、相談受付など、いろいろなお仕事をしています。次回の子ども司書講座は本の貸出と返却受付体験です。実際に図書館にみる利用者さんの対応をします。

パソコンを使って操作をするので、今回は、その練習をしました。ペアを組んでお互い利用者さんと司書さん役で練習しました。覚える操作も大変だし、どうやって声をかけたらいいのか？みんな緊張しながらも一生懸命に練習していました！次回の本番もがんばりましょう！



次回の講座予定
 今回は8月3日（日）です。
 お楽しみに！！